

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名：一般国道304号 <small>しみずだに</small> 清水谷バイパス	事業区分：一般国道	事業主体： <small>いしかわ</small> 石川県
起終点：自： <small>いしかわ かなざわ ふるやだにまち</small> 石川県金沢市古屋谷町 至： <small>いしかわ かなざわ しみずだにまち</small> 石川県金沢市清水谷町	延長：1.5 km	
事業概要：一般国道304号は、金沢市と富山県南砺市を結ぶ幹線道路であり、地域高規格道路金沢外環状道路（山側環状）の月浦ICと金沢テクノパーク・金沢森本工業団地・物流センターを結ぶ一次アクセス道路である。 当該区間において、バイパス整備による狭隘箇所・急カーブといった交通のネックを解消し、ICアクセス向上により物流の効率化を図る。		
H27年度事業化	H-1年度都市計画決定	H-1年度用地着手
全体事業費	22億円	事業進捗率
計画交通量	2,800台/日	約1%
費用対効果分析結果	B/C： <small>（事業全体）</small> 1.1	総費用： <small>（事業全体）</small> 19億円 （事業費：18億円 維持管理費：1.0億円）
		総便益： <small>（事業全体）</small> 21億円 （走行時間短縮便益：18億円 走行経費減少便益：1.8億円 交通事故減少便益：1.0億円）
感度分析の結果	<small>（事業全体）</small> 交通量：B/C=1.1～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.0～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%）	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸自動車道金沢森本ICや金沢外環状道路月浦ICへのアクセス向上が図れる</li> <li>緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</li> </ul>	
関係する地方公共団体等の意見	・一般国道304号道路整備促進期成同盟会（会長：南砺市長、副会長：金沢市長、白川村長）からの要望あり。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	—	
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業進捗率約1%、用地取得率 —	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成28年度より用地に着手し、今後は早期完了を目指していく。	
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。	
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	—	



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。